

毎月15日までの会費集金
にご協力をお願いします。
会計 山崎孝亀

春日井民商だより

春日井民主商工会発行

TEL 0568-81-1482

FAX 0568-81-9756

http://kasugaiminsyo.st1.jp



積極的な組織拡大で強い春日井民商をつくろう！



事務所での申告相談は3月15日をもって終了とします。重税反対統一行動も終わりました。所得税及び復興特別所得税と消費税の確定申告書の提出期限は4月15日までに延長されましたが、春日井民商では、提出期限の延長にかかわらず事務所での申告相談等は3月15日です。終了とします。退会する会員も多く組織拡大もままなりません。さて、春日井民商では昨年4月からの1年で多くの新会員を迎え、コロナ禍の中でも増勢を続けてきました。しかし、経営不振による廃業などで3月末退会予定の会員も多

定期的な健康診断受診を！

みなさん、健康診断は受診していますか？

「結果が怖くて健康診断を受診したくない」という方もいますが、その結果取り返しのつかない状況になることの方がもっと怖いのです。1年に1回は健康診断を受診しましょう。

春日井民商共済会では、健康診断を受診した共済会加入者に以下のような助成を行っています。ご不明な点があればお近くの役員または事務所までお問い合わせください。

健康診断・人間ドックを受診した共済加入者には…

最高3,000円を助成(1年に1回)

市の無料健康診断を受診した共済加入者には…

1,000円分のクオカードを贈呈(1年に1回)

胃カメラ検査・大腸カメラ検査を受診した会員と配偶者には…

最高2,000円を助成(1年に1回)

※共済会加入の有無を問いません。

インフルエンザ予防接種・肺炎球菌予防接種を受診した共済加入者への助成も継続しています。どちらも1年に1回、最高3,000円までです。

く、組織拡大がままならない状況です。会員・読者の拡大にご協力を。民商は中小業者が知恵と力を合わせて互いに守り助け合う団体です。運動に加わる人が多くなればなるほど、中小業者の生活を守り要求を実現する力になります。会員・読者の皆さん。知り合いや親戚等で、「困った！」という方がみえたら、ぜひ民商まで紹介してください。また、対象の方で共済会や婦人部・青年部にまだ加入していない方もぜひ加入をお願いします。

東日本大震災から10年 今なお残る帰還困難区域 原発ゼロの実現を！

3月11日で東日本大震災から10年を迎えました。とくに福島県沿岸部では、世界最悪レベルの原子力事故となった福島第一原発事故による影響が深刻です。春日井民商では震災から2年半後の2013年9月に福島県を視察し、さながらゴーストタウンのような立入禁止区域の風景を見て原発事故がいかに恐ろしいかを痛感しました。あれから7年半が経ちましたが、被災地の風景は驚くほど何も変わっていません。原発の北側に位置する浪江町では、震災当時21,500人だった人口は17,000人に減り、うち町内に居住している人はわずか1,500人だそうで、復興とは程遠い状況がうかがえます。人類と原発は共存できるものではなく、一刻も早い原発ゼロを実現する必要があります。



2013年9月視察時の浪江町の様子



現在の同じ場所の様子